

【紹介議員追加 令和3年6月15日文教委員会承認】

請 願 文 書 表	
受理年月日 及び番号	令和3年5月28日 第12号
件 名	「グリホサート農薬」のっていない安心安全な学校給食の提供を求める請願
請 願 者	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 80%; height: 15px; margin-bottom: 5px; margin-left: 20px;"></div> <div style="background-color: black; width: 30%; height: 15px; margin-left: 40px;"></div>
紹介議員	沢 田 けいじ 松 下 純 子 関 川 けさ子
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	文教委員会

## 請願理由

日本は遺伝子組み換え作物の許可数が世界一です。「遺伝子組み換えでない」の食品表示はごく一部にしかされていません。多くの加工食品には表示がないので、子ども達は気づかずに遺伝子組み換え作物を摂取しています。遺伝子組み換え作物は、残留する「グリホサート農薬」の危険性が問題になっています。

「グリホサート農薬」は遺伝子組み換え企業のモンサント社が開発し、「ラウンドアップ」の商品名で販売されています。2015年にWHO下部組織の国際がん研究機関は「グリホサートは人に対しておそらく発がん性がある」と発表しています。また、発がん性以外にも様々な危険性が指摘されています。

例えば、ラットを用いた実験では、安全とされる基準値以下の超低濃度でも長期間の摂取で脂肪肝が起きています。別の実験では、毒性は全く出ませんという無毒性量の半分を親ラットが摂取すると、摂取していない孫やひ孫に腫瘍や出生異常があらわれています。海外では33か国で「グリホサート農薬」の禁止や規制がされており、アメリカでは「グリホサート農薬」への曝露でがんを発症したとの訴訟が10万件起きています。危険性を指摘する研究論文は多数あり、現在でも毎月のように、様々な研究グループから発表され続けています。

国会でも取り上げられましたが、この「グリホサート農薬」が全国の学校給食のパンから検出されて問題になっています。パンの原料になる小麦は遺伝子組み換えではありませんが、輸入小麦は収穫前に「グリホサート農薬」が散布されています。農水省の検査では、アメリカ産小麦97%・カナダ産小麦100%から「グリホサート農薬」が検出されています。一方、国産小麦からは検出されていません。

文京区の学校給食のパンも輸入小麦が使用されています。学校給食のパンは残留農薬の多い2-3等級の小麦が多いとされています。しかし、文京区の学校給食では「グリホサート農薬」の残留農薬検査が行われていないので実態がわかりません。子どもは免疫が出来上がっておらず、大人に比べて受ける影響は深刻です。

そのため、下記の事項について、区に働きかけて頂きたい、貴議会にお願いいたします。

## 請願事項

- 1 安全とされる基準値以下でも様々な危険性が指摘され、海外の多くの国で禁止や規制が進む「グリホサート農薬」が輸入小麦から検出されています。安全性に疑いがあるものは使用しないという予防原則に基づき、輸入小麦を文京区の学校給食のパンや麺に使用するのを止めて、国産小麦・有機小麦または米飯に切り替えてください。
- 2 文京区の学校給食における「グリホサート農薬」の残留実態を把握するため、食材を使った後に、「グリホサート農薬」の数値測定をすることを検討してください。